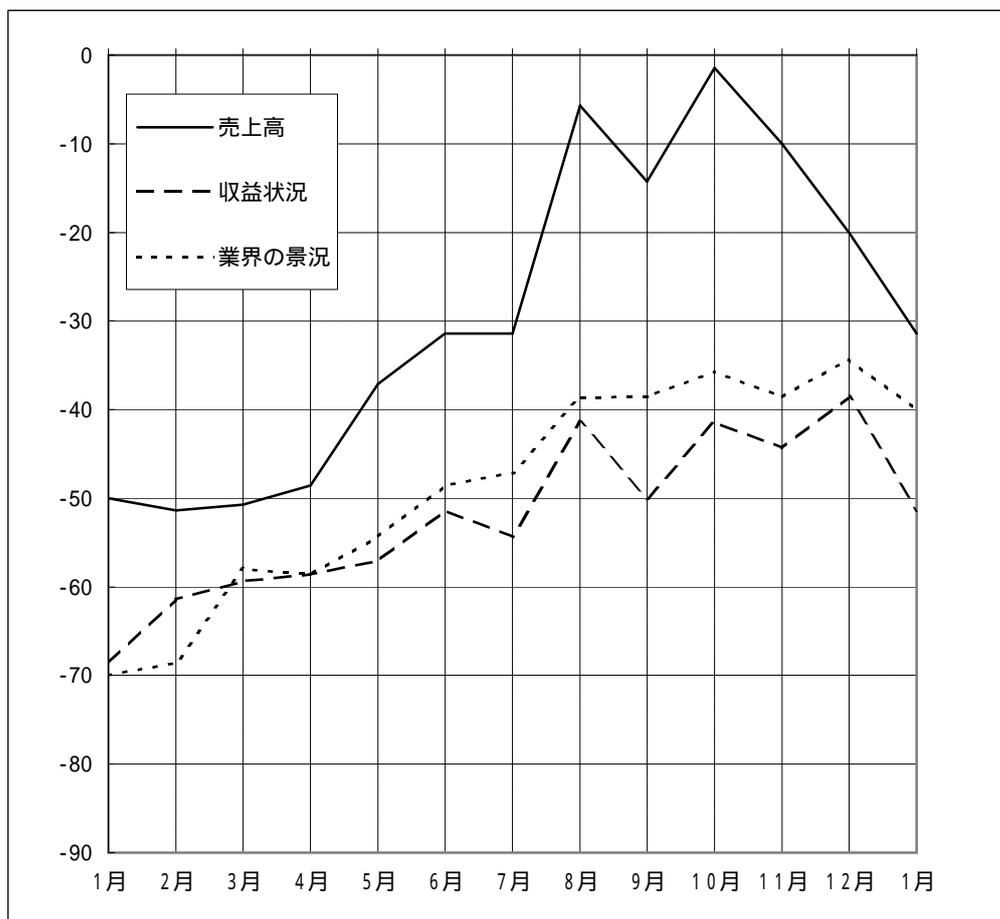


グラフ

業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成15年1月～平成16年1月

単位:ポイント



| | 平成15年 | | | | | | | | | | | | 平成16年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
| 売上高 | -50.0 | -51.4 | -50.7 | -48.6 | -37.1 | -31.4 | -31.4 | -5.7 | -14.3 | -1.4 | -10.0 | -20.0 | -31.4 |
| 収益状況 | -68.6 | -61.4 | -59.4 | -58.6 | -57.1 | -51.4 | -54.3 | -41.4 | -50.0 | -41.4 | -44.3 | -38.6 | -51.4 |
| 業界の景況 | -70.0 | -68.6 | -58.0 | -58.6 | -54.3 | -48.6 | -47.1 | -38.6 | -38.6 | -35.7 | -38.6 | -34.3 | -40.0 |

1月のDI値をみると、前月より全ての項目で悪化が見られた。「売上高」は前月より11.4ポイント悪化し、マイナス30%に推移した。「収益状況」においては12.7ポイント悪化し、平成15年9月以来のマイナス50%台に推移した。「景況」は前月より5.7ポイント悪化し、マイナス40%台に推移した。中小企業の景況は、依然として厳しい状況である。

業種別の「景況」をみると、製造業全32種中、増加4、不変15、悪化13であり、前年同月より悪化が9減少した分、好転1、不変が8増加した。主に「鉄鋼・金属」「一般機器」で好転した。また、非製造業では、全38種中、好転1、不変17、悪化20であり、前年同月より悪化が10減少した分、好転が1、不変が9増加した。主に「商店街」で好転及び不変の割合を増やし、「卸売業」「建設業」で不変の割合を増加させた。

組合の特記事項からは、全体的に製造業では、売上高の減少及び材料価格の上昇や価格競争による収益面の圧迫化の報告が多かった。しかし、「鉄鋼・金属」の一部で売上高上昇の報告が見られた。また、「商店街」「建設業」を含めた非製造業においても全体的に消費低迷に苦しみ、その他価格競争及びデフレの影響の他、先行きの不透明感を危惧する報告があった。業種を問わず中小企業の景況は、引き続き厳しい状況下であることが窺える。